

福祉心理学科

福祉心理学科では、その人の行動や心の動きに関する心理学的な知見を学び、他者の理解と心理的支援に実際に応用できる「心理実践力」を身につけます。「心理学の学び」は、福祉、医療・看護など現場での利用者理解をはじめ、職場や家庭での人間関係にも役立ちます。臨床、発達、社会心理など幅広く心理学を学ぶことに加え、「カウンセリング」など、より実践的なスクーリングも受講できます。認定心理士などの資格も取得可能です。

取得できる資格

認定心理士

日本心理学会が「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」と認定する資格です。

福祉心理士

日本福祉心理学会が認定する資格であり、福祉サービスを利用する人のケアを行い、福祉の領域で心理的な問題を担当する専門家としての資格です。

■ 任用資格

社会福祉主事

児童指導員

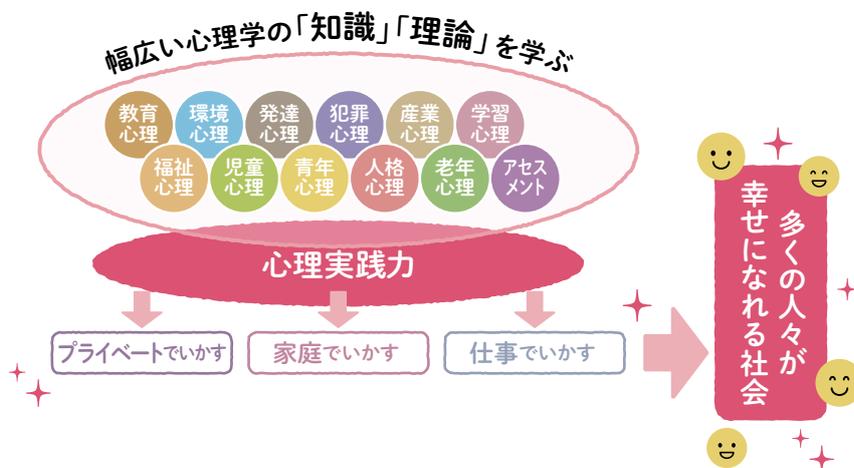
知的障害者福祉司

児童心理司

主な就業先
児童相談所

福祉心理学科の学び

- 人間の認知・行動を、環境と人の相互作用から理解する
- 人間を時間の経過のなかで発達・変化する存在ととらえる
- ところの支援のための理論と技術を学ぶ



1 生きた知識に触れる



様々な現場経験をもつ教授陣が、教科書には載っていない、肌で感じた生の知識を語ります。自己および他者を理解できる知識を身につけ、心理的問題を解決する力を養います。

2 心理学の理論を幅広く学ぶ

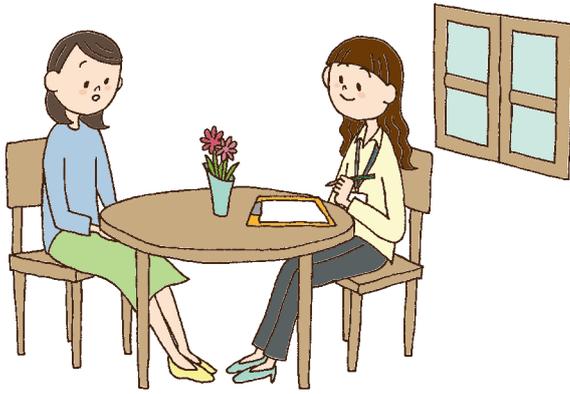


臨床、発達、社会、犯罪、教育、学習など、多くの科目で幅広い理論を学ぶことができます。様々な心理学の領域を学ぶことで、視野が広がり、多角的に「人のこころ」を理解することができるようになります。

3 理論を活かす心理実践力を!



実践に結びつく理論を「心理実践力」として身につけられる教育をします。職場やプライベートなど、様々な人間関係で、人々の抱える心理的問題を解決する力、幸福感を持てるように貢献する力を育てます。



学科長からのメッセージ

Message for you

「心理学」は、一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生き方が出来るようにサポートする学問です。一人ひとりの幸せを考え、福祉的貢献が出来る「心理学」が必要とされています。しかし、それを行うためには「心理学」についての高い専門性が必要になります。「心理学」は、人間研究の学問であり、理論的裏付けがあつてこそ学問として成立します。通信教育部福祉心理学科では、そのような教育を提供したいと考えています。

理論は実践に活かされてこそ価値を持つと考えられます。福祉心理学科は、実践に結びつく理論を、「心理実践力」として身につけられる教育をしたいと考えています。そのためには、謙虚な姿勢で相手との関係を築いていくことが重要になります。福祉心理学科は、「心理実践力」をもとに、皆さんの人づくりを推進していきます。

心理学を真摯に学び、多くの人々が幸せになれる社会を作りたい、福祉心理学科はそんな熱い想いをを持った皆さんを待っています。

福祉心理学科で学べる科目

「心理学概論」「福祉心理学」「心理学実験」などの科目を通じて、心理学の代表的な知識と基本的な技能を学びます。その他、幅広い分野の心理学を深く学び、人間理解と心理学的支援の基礎を身につける科目があり、その一部を紹介します。

福祉心理学

高齢者の生きがいや徘徊などを題材に、人々のQOL向上、幸せの追求を援助する福祉心理学的な方法について考えていきます。

臨床心理学概論Ⅰ・Ⅱ

苦しみを抱え、抱えきれずに立ち尽くしている方が、自分らしい道を歩き出すための心理的援助を提供するための基礎を学びます。

心理学実験 Ⅰ(A・B)・Ⅱ(A・B)

科学的な手法のひとつである実験法の基礎を、それぞれ2つずつの実験を体験することで学びます。

心理学概論A・B

自分や他者の心を理解することができれば、多くの場面で活用できます。日常生活のなかから、心理学の基本を学びます。

カウンセリングⅠ

カウンセリングの基礎や傾聴の技法、援助の心構えや留意事項などを学ぶとともに、自分自身を振り返り、自己理解も深めます。

発達心理学

「発達とは積み重ねである」「人は絶えず変化する存在である」とらえ、人の一生の変化の姿とその要因を明らかにします。

人間関係論

人間関係を悪化させてしまう要因や誰しもが有する認知的な歪みについて理解し、自分の人間関係を分析できるよう学びます。

ライフサイクルと福祉心理学

人生において遭遇する様々な悩みや問題について、自己成長をキーワードに福祉心理学の視点から掘り下げて学びます。

渡部 純夫

Sumio Watanabe

教授

【主な研究テーマ】

東日本大震災により被災した方への心のサポートをする専門家に対して、箱庭療法がどのような癒しの効果を発揮するか、研究を行っている。

【最終学歴】

筑波大学大学院
教育研究科 修士課程修了



Interview

社会人の今だからこそ 大学での学びが 仕事にいきっていると実感

吉田 展泰さん

岩手県 陸前高田市 在住
3年次編入学
地域活動センター
相談室 障がい者就業・
生活支援センター 勤務

障がい者の相談支援に従事し業務にあたるなかで、利用者本人やその家族の心理が、意志や行動、周囲の環境に対し、どのような影響を与えるのかと関心を持ちました。その時に見つけたのが東北福祉大学通信教育部の福祉心理学科でした。入学後、通信教育での学習に不安もありましたが、仕事と勉強の両立を可能にできたのはオンデマンド・スクーリングの存在だと思います。社会人学生が、限られた時間を有効に使うための仕組みがあったのは助かりました。

ある程度学習も進んだことから、グラウンデッド・セオリー・アプローチの分析方法を用いて「精神障害者の障

害適応過程における認知の変化」をテーマに、卒業研究を行っています。現在の目標は、この卒業研究をやり遂げ、自分の納得のいく卒業論文を書き上げ提出することです。

また、卒業後は大学院へ進学し、より心理学に関する知識や実践力を深め、臨床心理士の資格にもチャレンジしたいと考えています。

社会人となり忙しい今だからこそ、日々の学びが仕事に、生活に仕事にいきっていると実感しています。通信教育部での学習は、学ぶことの面白さを実感でき、心を豊かにしてくれる時間でもあります。

教員 教員が卒業と資格取得をチームで支えます 通信教育部では専任の講師陣、



准教授
佐藤 俊人

〈主な担当科目〉
「心理学概論A・B」
「心理学実験IA・B」
「心理学研究法A」ほか



准教授
吉田 綾乃

〈主な担当科目〉
「社会・集団・家族心理学A
(社会・集団心理学)」
「心理学研究法B」ほか



准教授
半澤 利一

〈主な担当科目〉
「司法・犯罪心理学」
「児童青年心理学」
「心理学実験IA・B」ほか

通信教育ならライフスタイルに合った学習が可能です。

吉田 展泰さんの学習プラン



オンデマンド・スクーリングを活用し効率よく学習しています

オンデマンド・スクーリングは、24時間いつでも視聴ができるので、働きながら学ぶ社会人にとって本当に便利な学習方法です。その分、直接会場に行かなければ受講できないスクーリングに都合を合わせやすかったです。自分に合った学習方法の選択は、限られた時間で効率よく学習するために必須だと思います。



1週間のスケジュール



私が入学1年目にかかった費用(参考)

- ・初年度納付金:160,000円
- ・スクーリング受講料:94,000円

合計 **254,000円**

初年度の学習から、積極的に多くのスクーリングを受講しました。2年目までにほとんどの科目のスクーリングを受講して単位を修得し、3年目には集中して「卒業研究」に取り組んでいます。



各分野のスペシャリストを揃え、みなさんの学習をサポートします。



准教授
中村 恵子

〈主な担当科目〉
「教育・学校心理学B
(学校心理学)」
「カウンセリングⅡ」ほか



准教授
河地 庸介

〈主な担当科目〉
「神経・生理心理学」
「心理学統計法」ほか



講師
山口 奈緒美

〈主な担当科目〉
「人間関係論」
「産業・組織心理学」
「心理学実験ⅠA・B」ほか

認定心理士とは 日本心理学会の認定資格

大学において心理学を学び、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」ことを「日本心理学会」が認定する資格です。

認定心理士の活躍の場

日常生活や福祉、医療、教育、子育てなど様々な場面で、心理学の専門的知識を有する人材が求められています。福祉施設や児童相談所、医療機関、企業、教育機関などでの活躍が期待されます。

資格取得のために

本学では、認定心理士の基礎科目として「心理学概論A・B」「心理学研究法A」「心理学統計法」「心理学実験Ⅰ(A・B)・Ⅱ(A・B)」があり、選択科目として専門的な科目を開設しています。申請にあたっては、日本心理学会が定める審査料・認定料計40,000円の費用がかかります。

福祉心理士とは 日本福祉心理学会の認定資格

福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得していると、「日本福祉心理学会」が認定した方のことです。

福祉心理士の活躍の場

福祉施設等において、心理学と社会福祉学の専門的知識を有し実践します。

資格取得のために

本学にて、心理学系科目と社会福祉系科目(相談援助科目含む)から規定の単位数以上を修得して卒業します。申請にあたっては、日本福祉心理学会が定める審査料・認定料計30,000円がかかります。また、日本福祉心理学会の学会員となり5年ごとに資格更新のための審査を受ける必要があります。

参考 大学院へ進学し臨床心理士を取得

臨床心理士は、心の問題に取り組む心理専門職の証となる資格で、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が実施する試験に合格し、認定を受けることで取得できる資格です。

臨床心理士の活躍の場

教育、医療・保健、福祉、司法・矯正、労働・産業分野での活躍が期待されます。特に、全国の公立中学校や小学校にスクールカウンセラーとして派遣され、活躍している方が多くいます。

資格取得のために

本学で臨床心理士を取得する場合は、通学課程の大学院(1種)へ進学し修了して、日本臨床心理士資格認定協会が実施する試験に合格し、認定を受けることが必要です。試験では、一次試験(多肢選択方式・論文記述)と二次試験(面接)により総合的に判定されます。

費用について (認定心理士取得時の例)

1年次入学 在学4年間・スクーリング単位30単位修得 最短の4年間で資格取得・卒業するための総費用76万円～

	入学1年目	入学2年目	入学3年目	入学4年目
入学選考料	10,000円			
入学金	30,000円			
学費※	130,000円	130,000円	130,000円	130,000円
スクーリング受講料	44,000円	50,000円	54,000円	52,000円
合計	214,000円	180,000円	184,000円	182,000円

※ 5年目以降在学する場合の学費は、1年あたり10万円です。

3年次編入学 在学2年間・スクーリング単位15単位修得・実習受講の場合 最短の2年間で資格取得・卒業するための総費用41万円～

	入学1年目	入学2年目
入学選考料	10,000円	
入学金	30,000円	
学費※	130,000円	130,000円
スクーリング受講料	56,000円	54,000円
合計	226,000円	184,000円

※ 3年目以降在学する場合の学費は、1年あたり10万円です。

大学で学んだ
心理学に興味を持ち
様々な心理学関連資格を取得
心理学を学んだことで
仕事の幅も広がりました

卒業生インタビュー

勤務先: 一般企業
部 署: 健康管理室
荒谷 雄子さん

看護師として働きながら1年次に入学し
4年間で卒業。病院の相談室を経て、現在
は一般企業で従業員の健康管理に従事。

地元の病院で看護師として勤務していましたが、大学で心理学を学びたいと思い、働きながらも学習ができる通信教育部に入学しました。

スクーリングでは、色々な年代、様々な経験をされていた方と話すことができ、とても楽しかったです。仕事と大学の両立は大変でしたが、レポートの評価も励みにして、目標の4年間で卒業できました。

通信教育での学びを通じて、患者さんや家族の方への向き合い方が変わって

きました。心理学の奥深さに興味をひかれ、大学卒業後も心理療法の研修会に参加するなどし、関連資格を取得しました。

そのなかで働く人へのケアやサポートに関心をもつようになり、現在は病院を離れ、一般企業で従業員の健康管理や保健指導をしています。

大学で学んだことで、自分の視野も仕事の幅も人生の幅も広がりました。心理学は、仕事だけでなく色々な方とかかわる上で、とても役立っています。

